

こが



市議会だより

<http://www.city.koga.fukuoka.jp/>



新しい時代とともに うみ、まち、さとの発展を

特集

平成 31 年度予算

未来へつなぐ予算 2 ~ 5

施政方針を問う 6 ~ 7

第 1 回定例会主な審議・補正予算 . . . 8 ~ 9

平成 30 年度政務活動報告 10 ~ 11

第 1 回定例会賛否一覧 12

ここが聞きたい! 一般質問 13 ~ 16

常任委員会報告 17 ~ 19

第 87 号

令和元年 (2019 年)

5 月 10 日

発行責任 福岡県古賀市議会

過去
最大
規模

213億5,491万円!

平成31年度当初予算の審査を、3月13日、14日、18日、19日の4日間にわたり、特別委員会を設置して審査しました。

議会でチェックしました 今年の注目事業



**道の駅
基本計画
策定委託**

観光情報の発信など観光拠点として道の駅の整備に向けた検討を行う

3,647万円



**コガバスの
運行改善**

バス停増：庄公民館前、庄綿津見神社前、新原公民館など
便数増：15便→18便

513万円

**地域
密着型
施設整備**

予定地：谷山 12月に開設
事業者：㈱ビジュアルビジョン

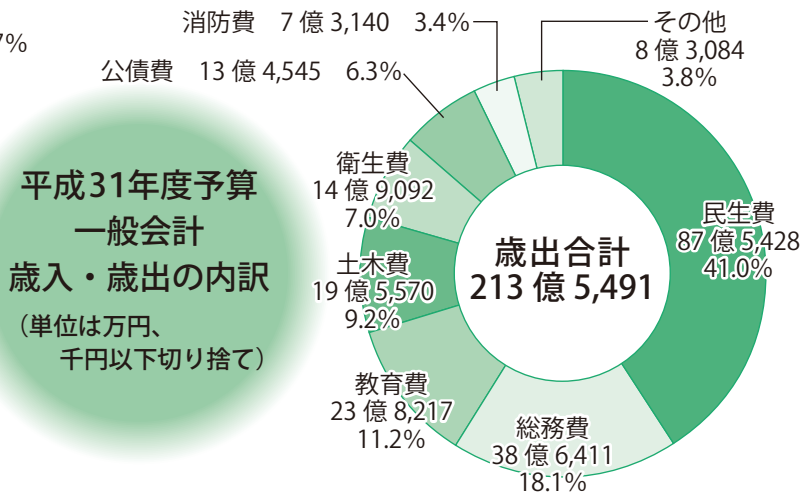
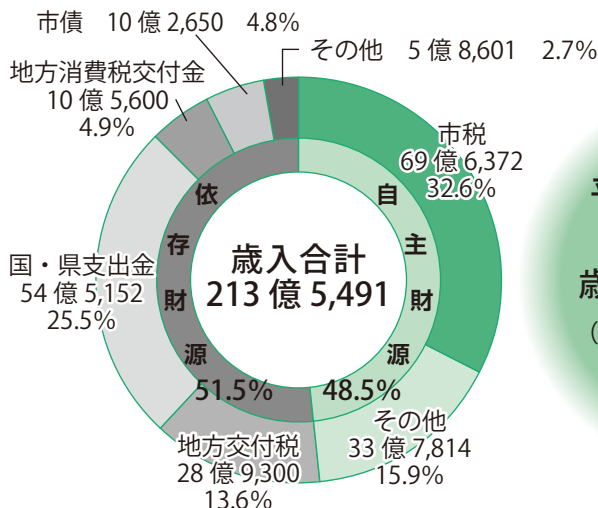
1,152万円



**後牟田
大池線に
自転車道**

通学路でもある後牟田大池線通行帯を整備するため詳細設計委託

1,168万円



平成31年度予算
一般会計
歳入・歳出の内訳
(単位は万円、
千円以下切り捨て)

平成31年度
一般会計予算
可決

新たな発想を加え 未来へつなぐ



**就学
援助費**

新たに小・中学校の援助を必要とする新入学児童生徒学用品費を入学前に前倒して支給

**3,320万円 (小学校)
2,791万円 (中学校)**



**ルーマニア
柔道選手団
事前キャンプ
誘致**

福津市と合同で支援

317万円



**小・中
学校へ
人的配置**

古賀市独自に、適応促進補助員、心の教室相談員、部活動外部指導員などを雇用

7,436万円



**文書各戸
配布委託**

「広報こが」と「行事予定表」を同時発行し、業者に配布を委託

1,167万円



**JR古賀
駅周辺の
再開発**

JR古賀駅周辺の再開発に向け、事前調査を行う

817万円

当 初 予 算	会 計 名	30 年度当初予算 (万円)	31 年度当初予算 (万円)	対前年度比較	
				増減額 (万円)	増減率 (%)
	一般会計	205 億 2,211	213 億 5,491	8 億 3,280	4.1
	住宅新築資金等貸付事業特別会計	2,006	2,085	78	3.9
	国民健康保険特別会計	58 億 8,761	60 億 6,438	1 億 7,677	3.0
	後期高齢者医療特別会計	7 億 4,638	7 億 8,661	4,022	5.4
	介護保険特別会計 (保険事業勘定)	35 億 5,132	39 億 9,607	4 億 4,474	12.5
	介護保険特別会計 (介護サービス事業勘定)	2,952	3,657	704	23.9
	公共下水道事業特別会計	20 億 3,633	—	△20 億 3,633	—
	農業集落排水事業特別会計	4 億 4,922	—	△4 億 4,922	—
	水道事業会計	15 億 2,053	23 億 1,847	7 億 9,793	52.5
	下水道事業会計	—	37 億 9,656	37 億 9,656	—
	総 計	347 億 6,312	383 億 7,445	36 億 1,132	10.4

※公共下水道事業特別会計及び農業集落排水事業特別会計については、企業会計移行に伴い平成31年度から下水道事業会計として統合
(千円以下切捨のため、総計が合わないことがあります)

新市長 初めての予算案提案

予算審査特別委員会の審査に際し、市長、副市長、教育長をはじめ関係部長、課長などの出席を求め、予算概要の説明を聞くと共に、各委員より資料要求に基づく資料などを参考に、4日間の審査を行いました。田辺市長の下で提案される初めての予算案であり、質疑を通して、各委員より市政運営の現状に鑑み、必要な市民サービスの低下を招かぬよう、さらなるきめ細やかな取り組みを求める多数の意見、提言がなされました。

具体的には、地域公共交通網形成計画策定について、公募型補助金について、市民活動センター運営業務委託について、自治会活動について、クロスパルコが指定管理について、有害鳥獣対策について、西鉄宮地岳線跡地利用について、企業誘致について、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーについて、ふるさと応援寄附について、子育て支援施策の機能強化について、認定農業者や農業女性の支援策について、産業施策のさらなる充実など、広範多岐にわたる意見、提言がなされました。最少の経費で最大の効果が得られるよう、予算執行に当たってはさらに努力、工夫を求めるものであります。また、予算審査の中で、改めて市長に見解を問いたいなどの発言があり、委員会に諮り、これを実施し

ました。

採決の結果、一般会計予算について、国民健康保険特別会計予算について、後期高齢者医療特別会計予算について、介護保険特別会計予算について、水道事業会計予算について、下水道事業会計予算についての6議案は、賛成多数でこれを可決しました。また、住宅新築資金等貸付事業特別会計予算については、賛成全員でこれを可決しました。



介護保険特別会計

反対

内場 恭子

介護予防の対策を強め、健康増進の対策やコミュニティ活動の推進など、高齢者の生活の質を守り、高めることが求められている。すべての高齢者対象の生活実態調査を行うべきだができていない。介護が必要な高齢者が、安心して介護を受けられるように、保険料引き下げや利用料の減免制度などが不足しており反対。

後期高齢者医療特別会計

反対

内場 恭子

福岡県後期高齢者広域連合の保険料は、全国1位の高さで、高齢者にとっては保険料の負担が重く、安心の後期高齢者医療制度になっていないことから反対。

国民健康保険特別会計

反対

内場 恭子

国民健康保険の加入者は、退職者、年金生活者などが多く、市町村国保の抱える制度上の構造的な問題がある。市は一般会計からの国保会計への繰り出しを積極的に行い、財政的な支援を行うべきだができておらず、市民の命と健康を守る保険制度になっていない。短期証、資格証発行があり反対。

一般会計予算

賛成 田中 英輔

新年度予算は前年比4.1%増となった。平成29(2017)年度決算の経常収支比率は95%で、中長期を見通した計画を求める。

市内公共交通では地域公共交通網形成計画策定が予算化され、移動手段の確保と充実が進むことを期待する。

教育費では少人数学級の継続、学習環境の整備にエアコン設置などを評価し賛成。

賛成 吉住 長敏

福岡都市圏といえども古賀市も人口減社会のうねりにある。その意味で地の利をバネにじっくり熟成させる持続可能な都市経営の大方針は適切。その中でも道の駅構想は内外、インバウンドによる活気をもたらすビジネスチャンス。防災機能を兼ね備えた未来に持続可能な発展予算だ。行政マンのやる気、本気の意欲を削ぐべきではない。

反対 内場 恭子

「道の駅」建設を市民は望んでいない。西鉄宮地岳線跡地の土地購入とともに、市民に説明しないまま、予算に盛り込まれており問題。コガバス運行委託は、新バス増設で期待されるが、運行のない地域には恩恵がなく、西鉄バス赤字補填は市民の望むものになっていない。市内巡回交通を望む声に答えていない。

賛成 伊東 洋子

小・中学校の、全ての普通教室と一部の特別教室の空調整備がいよいよ実現。病児保育施設が1カ所増設され、働く子育て世帯の支援強化に。公共施設間を結んでいたコガバスはバス停を5カ所増設、市民の利便性が向上。しかし、道の駅は将来、負の財産にならないかを危惧。子ども政策と公共交通の充実を期待する。

賛成 阿部 友子

予算の見える化に取り組み提案。評価できるものは、「チルドレンファースト」。小・中学校への人的配置の充実、子育て世代包括支援センターの開設、地域での乳幼児親子の交流の場を開設など評価できる。

広報紙などの各戸配布を委託し、区長などの負担軽減を図られたことはよかった。コガバスのバス増、便数増は一步前進であり賛成。

水道事業会計

賛成 吉住 長敏

前年度は基本水量料金の撤廃、今年度は上水道事業の統合のもと、次なる口径別料金体系の導入をにらんだ水道ビジョン、経営戦略の策定に着手。また自己水源17カ所の取水井戸を廃止する方向で事業が展開されるなど、総じて過去の積み残し課題に矢継ぎ早に手をつけた、改善改革を推し進める機運が伝わる業務姿勢を評価する。

反対 内場 恭子

福岡水道企業団への出資金、繰出金は非常に大きなもので、福岡水道企業団からの受水見直し、企業団との関係見直しができていない。北九州水道用水の安価な水を活用し水道料金の引き下げもすべきだができていないことから反対。

下水道事業会計

賛成 吉住 長敏

地方公営企業会計への移行初年度の予算は、昨年10月の市民建産委員会で公表された平成30年度から39年度までの膨大な古賀市下水道事業経営戦略の策定のもとに進行されたと推察する。その内容詳細は議会としても共有すべきであり、今後習得する機会を要望する。

賛成 阿部 友子

下水道事業会計は、平成31年度より公営企業法を適用し、公共下水道事業特別会計と農業集落排水事業特別会計が一緒になり、下水道事業会計となった。事業内容が見えやすくなった。

人口減少が進み財政が厳しくなる中、いっそうの効率的・効果的な汚水処理が求められる。合併浄化槽整備も検討すべき。

反対 内場 恭子

市は下水道料金を引き上げた、少額であっても市民にとっては大きな負担だった。公営企業会計制度への移行で、適切な運営が求められている。未接続の方に対しての利用や接続を増やす努力をするべきだができておらず、社会的弱者への配慮の不足などから反対。

古賀市の未来を考える



施政方針 質疑

市長の政治姿勢や
政策の内容について、
各会派の代表が問う！

施政方針を問う

高齢化・人口減少への対応は

議員

少子高齢化と人口減少が進み、産業活動や消費にも影響が及ぶ、対応は。

市長

本市の人口は微増傾向だが、経済活動の縮小が懸念される。適正な土地利用、中心市街地の活性化、企業誘致の推進などと、農業・商業・工業の力を引き出し、定住化促進を図る。

議員

高齢化が進む、市民の健康増進や健康寿命延伸の取り組みは。

市長

市民一人ひとりに合った健康づくり、健康を支える社会環境づくりの両輪で進めたい。担い手である健康づくりサポーターや大学などと連携を進める。



田中英輔（山海会）

会派と所属議員

会派	所属議員
山海会 (さんみかい)	田中英輔 古賀誠視 伊東洋子 村松謙二
連 (れん)	阿部友子 吉住長敏 清原哲史
自由クラブ (じゆくらくぶ)	松島岩太 渡孝二 福崎智之
公明党 (こうめいとう)	井之上豊 平木尚子
会派に 属さない議員	内場恭子 森本義征 結城弘明 岩井秀一

質疑時間は会派人数に応じた時間制（1人当たり5分）とし、紙面も質疑時間に合わせた配分をしています。

住み続けたい古賀市をめざして

阿部 友子(連)

議員

文化・芸術は、人の心を揺り動かし、生きる力を与える。文化・芸術の振興についての考えを。

市長

文化・芸術は、暮らしの根っこにあり、生きがいづくり、地域づくりになくてはならない。芸術を成立させるのはコミュニケーションであり、ここには文化の価値がある。私たちの暮らしもコミュニケーションがなければ成立しない。その意味でまちづくりには文化・芸術の振興を位置づけるのは重要。

議員

誰もが生きやすい地域共生社会の構築についての考えを。

市長

「QOL」(Quality Of Life)生活の質」の向上をめざす。



施政方針を問う

施政方針に対する代表質問

松島 岩太(自由クラブ)

議員

市長の政治的な立場について、伺う。

市長

リベラリストであり、保守主義者であると考えている。

議員

県議時代に所属していた政党との関係はどうか。

市長

政党との関係はすでに離党している。

議員

先月、以前所属されていた政党の政治家の選挙に際し、古賀市長として為書きを贈呈されたのは、どのように理解すればよろしいのか。

市長

政治家としての人間関係を断ち切ることは適切ではないし、どこの政党に所属していても信頼できる方とは連携していく。

市民の声を活かす防災訓練に

内場 恭子

議員

女性、高齢者などの声を活かし、スナップアップした防災訓練の実施を。

市長

課題が認識できる訓練の啓発をする。

施政方針について問う

井之上 豊(公明党)

議員

中小企業や小規模事業者支援とは。

市長

創業者のステージに応じた支援。

議員

道の駅について、市民の声とは。

市長

対話集会などを開催していく予定。

議員

地域防災計画の進捗状況はどうか。

市長

県の見直しを踏まえて改定を行う。

議員

地域公共交通網形成計画の策定とは。

市長

ニーズに応じて柔軟に見直すと認識。

施政方針について

岩井 秀一

議員

道の駅決定への経過は説明されたか。

市長

道の駅の機能や売上規模、施設規模、内容、対話集会の意見などを踏まえ検討し、議会へ説明を行い決定する。

古賀市の子どもたちをみんなで育てよう！ 古賀市子ども・子育て支援条例

この条例は、安心して子どもを産み育てることができる環境を整え、子どもが健やかに成長できる社会の実現に寄与することを目的とし、子育て支援について総合的に推進していくためものです。

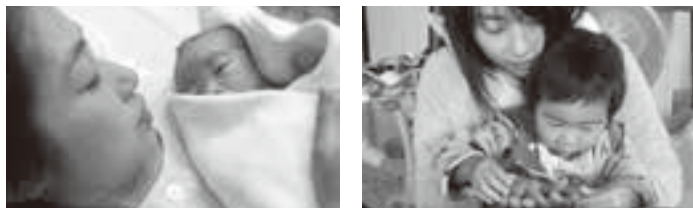
主な審議

第1回定例会
(2月28日～3月27日)

共働き世帯の増加、地域のつながりの希薄化などで、子育て家庭を取り巻く状況が厳しさを増すとともに、児童虐待、いじめ、子どもの貧困などが社会問題化しています。

これからは行政だけでなく、地域や学校など古賀市全体で子どもたちの育ち、子育てを支援する取り組みが必要となっていきます。

そこで、子どもたちが健やかに成長するための環境をつくり、子どもの生きる力を育むための支援を実現していくため「古賀市子ども・子育て支援条例」ができました。



賛成多数
可決

付託▷ 文教厚生委員会 賛成全員 可決

それぞれの役割

市民等の役割

子ども・子育て支援への理解を深め「子ども家庭を支援する」「子どもの規範となる」「子どもの問題等に関心を持ち理解を深める」など。

学校等の役割

年齢に応じた学びの場として「環境を整え、教育を充実する」「保護者・市民等・地域団体と協力した教育環境をつくる」「子どもの問題の未然防止・早期発見・対応」など。

地域団体等の役割

保護者からの相談に応じ「助言や関係機関への情報提供」「市民等の自主的な支援協力」「体験活動・知識習得等の機会の提供」など。

事業者の役割

仕事と子育てが両立できる労働環境の整備など。

保護者の役割

子育ての最も重要な責任を担うことを自覚し「子どもの人間性を育む」「愛情を持って育てる」など。

市民が使いやすい体育館へ

古賀市民体育館条例の一部改正

老朽化により、危険になった備品があるトレーニング室を安らげる控え室に。

付託▷ 文教厚生委員会 賛成全員 可決

賛成全員
可決

人事

古賀市教育委員会委員の任命について

・米倉 彰 氏 (再任)

副市長の選任について

・横田 昌宏 氏 (再任)

賛成全員
同意

きれいな古賀市にしよう！

古賀市景観条例

古賀市の良好な景観形成を促進するため、土地の開墾、土石の採取など土地の形質の変更や、鉄塔、煙突、屋外照明、記念碑などの工作物に係るものに対して、基準を定めるための条例です。



付託▷ 市民建産委員会 賛成全員 可決

賛成全員
可決

第1回定例会

古賀市の子どもたちの学習環境を良くしよう！ 小学校・中学校の空調設備整備

古賀市内の小・中学生が、学習に専念できるよう、教室にエアコンを設置するための「設計」、「工事」に係る補正予算として

9億1,682万5千円

補正予算

第1回 定例会
(2月28日～3月27日)

平成30年度 古賀市一般会計補正予算

補正 5億9,916万4千円を追加 総額 220億8,077万2千円



私立幼稚園運営支援事業費

△1億6,926万9千円

恵あおぞら保育園の、施設整備が遅延のため減額。



小学校管理費

3,000万円

花見小学校の多目的ホールの教室整備に伴う改修工事。



浜大塚線整備事業費

△9,558万3千円

予算に対し、県からの補助金交付決定額が減ったことから減額。



国道・県道改良事業費

△4,700万円

中川熊鶴線の福岡県の工事の遅延により減額。

特別会計

住宅新築資金等貸付	75万1千円増額	総額	2,082万円
国民健康保険	1億5,234万9千円増額	総額	61億2,100万5千円
後期高齢者医療	118万6千円減額	総額	7億4,370万8千円
介護保険（保険事業）	929万3千円増額	総額	37億7,299万7千円
水道事業（収益的収入）	55万2千円増額	総額	11億9,042万3千円
水道事業（収益的支出）	4,615万9千円減額	総額	10億3,479万2千円

一般会計
賛成全員
特別会計
賛成全員
可決

一部事務組合報告

玄界環境組合

平成31年2月19日、組合議会が開催。職員の自己啓発や休業条例、職員の勤務時間、休暇の制定や育児休暇の条例改正などの提案がありました。また、30年度補正に歳入、歳出総額37億3000万円、いずれも賛成全員で認定。31年度予算約28億円の審議後、賛成全員で認定しました。

議長 結城 弘明

議員より、筵内区への協力金年間700万円、特別



粕屋北部消防組合

平成31年粕屋北部消防組合議会第一回定例会が2月22日に開催。31年度一般会計予算および31年度休日診療所事業特別会計について審議を行いました。一般会計では、消防指令システム共同運営事業委託料に7100万円な

ど総額11億1100万円が計上、休日診療所事業特別会計予算では、主に管理費に2300万円、総額2350万円が計上され、いずれも賛成全員で認定。また、第5次消防本部総合計画についての報告がありました。

政務活動費を活かし 研鑽に努める！

田中 英輔 山海会

古賀 誠規 山海会

伊東 洋子 山海会

村松 謙二 山海会

九州北部豪雨現地視察

朝倉市 4月24日

古賀市の防災に資するため、朝倉市を視察しました。

被災時を想定した行政幹部の態勢・情報伝達の確保、近隣自治体との受援や支援計画、女性の視点を入れた避難所運営など、今後の参考になった。

活動報告書を作成・配布

議会ごとに活動報告書を作成し、市議会の審議内容や行政の課題、政策提言、市内のニュースなどを「リーフレット」として、各戸へポストイングを行った。作成するにあたり、最も気をつけたのは、市民目線でわかりやすく情報発信に努めた。

全国市民政治ネットワーク

交流集会2018

東京都新宿区 7月21日

「社会保障と財政」について現状と対策を学んだ。

女性議員ネットワーク研修会

福岡市 5月23日

「立花高校斉藤校長の講話」

「不登校、引きこもり相談支援の現状と課題」など。

(伊東 洋子)

阿部 友子 連

清原 哲史 連

吉住 長敏 連

地域担当制度について視察

広島県呉市 5月15日

地方交付税減額の財源不足に対応するため「財政集中改革プログラム」「職員活性化プログラム」「ゆめづくり地域協働プログラム」の3本柱により、協働手法による公共サービス提供に移行。地域協働担当職員制度として各2人〜3

人を配置している。



不妊治療全額補助制度について視察

広島県三次市 5月16日

高額なため不妊治療をあきらめているという声を聴き、県助成額を除いた費用の全額助成に踏み切った。その後、不妊検査・一般不妊治療費助成と制度を拡大。

「思った以上に市民の期待感がある」そうだ。

活動報告書を作成・配布

日本自治創造学会

研究大会参加

人生100年時代の地域デザイン

東京都千代田区 5月10日

(阿部 友子)

結城 弘明 会派に属さない議員

地方議員研修会

福岡市 10月24日

「質疑やり取り向上研修」

「なぜ貴方の質問は執行部に響かないのか」、質問はネタを探すのではなく沸いてくる様な経歴を創る努力をすべき。反省すべき点であった。

全国市議会議長会研修会

栃木県宇都宮市

11月14日〜15日

森本 義征 会派に属さない議員

指定管理者制度で「稼ぐ施設」の実現

公民連携（PPP）手法の中核制度として平成15年に制度が導入され、存続しているが、「公民連携」でのさまざまな手法を研究して、指定管理者制度で「稼ぐ施設」の実現をめざすこともできることを学んだ。

活動報告書を作成・配布

重要な件について、活動報告書を作成し、配布した。



- ・古賀市の政務活動費は、月1万円、年額12万円が交付されます。
- ・残金は返還し、不足分は個人負担となります。
- ・領収書(1円から)を添付した報告書を毎年提出します。
- ・詳細は古賀市議会ホームページにて閲覧できます。

※スペースの関係上、提出報告書の一部を掲載しています。

松島 岩太

自由クラブ

渡 孝一

自由クラブ

福崎 智之

自由クラブ

宮城県・福島県・栃木県

9月26日～28日

宮城県『あ・ら・伊達な道の駅』『三滝堂』『林林館』『上品の郷』『おおさと』『福島県』『あつかしの郷』『栃木県』『日光』計7カ所。

古賀市では道の駅の計画が進行中であり、東北、北関東の有名な道の駅を視察した。特に、国土交通省持ち分の駐車場エリアと自治体などの持ち分である建屋などの部分の境をどのように区分したかが重要と考え、国道からの乗り入れをみるため、レンタカーでの視察を行った。どこも特徴があり、大変参考になったが、特に印象に残ったのは、宮城県の『上品の郷』。立派な建物や物産を並べても、ふるさとに対する愛情がなければ、素晴らしい道の駅にはならないと確信した。

井之上 豊

公明党

平木 尚子

公明党

九州北部豪雨現地視察

朝倉市 4月24日

市役所、母子避難所、小学校、道の駅など視察した。また、被災地集落を訪れ災害の大きさに驚いた。実際に災害が起きた時の対応、避難の状況を学び、母子避難所の開設など、学ぶべきところが多かった。



被害にあった学校

全国地方議会サミット2018
議会のチカラで日本創成

東京都新宿区

7月11日～12日

早稲田大学での研修。全国の先進事例の発表があった。(井之上 豊)

内場 恭子

会派に属さない議員

九州北部豪雨現地視察

朝倉市 4月24日

九州北部豪雨被災地への視察。被災地松末地区と災害母子支援センターを訪問。平成29年7月5日朝倉市近隣は9時間で774ミリの記録的豪雨を観測。死者35人。家屋農業などに甚大な被害が出た。避難対策や訓練、災害想定の見直しの必要性を痛感した。

市議会活動報告を作成

岩井 秀一

会派に属さない議員

全国市議会議長会研修会

栃木県宇都宮市

11月14日～15日

議会と市民の関係についての研修。執行機関に対する監視や政策提言を行う議会本来の役割とその信頼を高めるため、多様な価値観や意見を持った市民との関係づくりがこれまで以上に必要となる。

退職議員

奴間 健司

まちづくりフォーラム

古賀市 4月15日

久山町が乗り出した新しいまちづくり「新国富指標」でどう変わるのか。

講師：馬奈木 俊介氏

まちづくりフォーラム

古賀市 6月26日

「誇り」あふれる古賀市にするためには。

講師：樋渡 啓祐氏

書籍購入

姉川 さつき

政務活動費未使用

高原 伸二

全国市議会議長会研修会

栃木県宇都宮市

11月14日～15日

「地域共生社会」をどう作るか。2040年問題を何とかするには、政治の役割は大きいと思われる。

号 数	議案名	結 果	阿	伊	平	岩	田	福	古	森	松	吉	井	内	渡	村	清	結
			部	東	木	井	中	崎	賀	本	島	住	上	場	孝	松	原	城
			友	洋	尚	秀	英	智	誠	義	岩	長	井	恭	二	謙	哲	弘
			子	子	子	一	輔	之	視	征	太	敏	之	子	二	二	史	明
1	専決処分（道路管理瑕疵に係る損害賠償）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	古賀市子ども・子育て支援条例の制定	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
3	古賀市が設置する一般廃棄物処理施設に係る生活環境影響調査結果縦覧等の手続に関する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	古賀市景観条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	古賀市屋外広告物条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	古賀市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	古賀市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	古賀市民体育館条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	古賀市国民健康保険税条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	古賀市企業立地促進条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	平成31年度古賀市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	平成31年度古賀市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	平成31年度古賀市国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	平成31年度古賀市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	平成31年度古賀市介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16	平成31年度古賀市水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17	平成31年度古賀市下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18	平成30年度古賀市一般会計補正予算（第5号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19	平成30年度古賀市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	平成30年度古賀市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21	平成30年度古賀市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22	平成30年度古賀市介護保険特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23	平成30年度古賀市水道事業会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24	福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の増減及び福岡県市町村職員退職手当組合理約の変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
25	副市長の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26	古賀市教育委員会委員の任命	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問	保育料決定処分に関する審査請求	棄却	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長職のため、表決に参加しない

○は賛成 ●は反対 議員は議席番号順

陳情者

沖縄県那覇市銘苅1丁目3番36号

ハピネス新都心II302

「新しい提案」実行委員会

代表 安里 長従

陳情

30年陳情8

辺野古新基地建設の中止と、
普天間基地の沖縄県外・国外
移転の国民的議論により、民
主主義及び憲法に基づき公正
に解決するべきとする意見書
採択を求める陳情

ここが聞きたい！

質

般

問

質 問 席

一般質問は、議員が市政全般について現状や方針を問うものです。
一人 30分（答弁を含まず）の持ち時間で質問します。
掲載している内容は、質問した議員自身の責任でまとめたものです。
掲載は通告届出順です。

中継・録画は、
インターネットで
視聴できます



森本 義征

今在家地区の土地利用転換の時期は

（答）2021年区域編入完了予定

議員 今在家地区について、土地利用転換に取組んでいるが、企業が進出できる時期は、いつ頃の見込みか。

市長 今在家地区については、2021年度に福岡県が実施する都市計画定期線引き見直しを目標として、地区計画の設定や農政協議、土地区画整理事業認可取得を行えるよう取り組みを進めている。

議員 今在家地区の企業進出時期は、2021年編入完了、2023年操業開始予定で間違いはないか。

市長 福岡県が行う市街化区域編入の具体的なスケジュールの発表はまだだが、2021年度と受け止めている。

議員 企業誘致と土地利用は切り離せない関係にあると思う。同じ担当部署にまとめるべきと考えるが。

市長 この件は重要だと認識している。事務の効率化・適正化は柔軟に行うべきであり、組織機構の見直しは、課題として認識している。

議員 市が「道の駅」を検討している

場所が開発できるのであれば、優良な企業がすぐにも手を挙げられると思うが、そのような問い合わせはないのか。

市長 道の駅検討地に限らず、開発の相談は、少なからず寄せられている。

自治体シンクタンクについて

議員 職員と市民で構成する、政策提言機関として創設することを提案するが。

市長 先進地の事例を参考にして、研究したい。

議員 自治体シンクタンクの存在は政策開発と組織にイノベーションを起すと考えられる。創設に大いに期待する。

古賀市の工業団地





内場 恭子

家庭で幼児教育、保育する世帯への支援を

〔答〕 種々の人的配置などに取り組んでいる

議員 家庭で幼児教育、保育する世帯を支援すべきだが、鳥取県伯耆町の家庭保育支援手当などをすべきだ。ひとり親家庭などへの支援が必要だが。

市長 財政面での検討が必要。

保健福祉部長 支援をするには、約1億円かかる。研究はしていく。

議員 子ども通院医療費助成18歳まで拡大は支援に有効策。実施すべきだ。

市長 市は入院費の助成は18歳まで実施。県の制度より拡大している。

議員 子どもの入院費の助成は18歳まで拡大すべきだ。子どもの居場所づくりや青少年への対策が必要だが。

教育長 地域と協力で、児童館などで取り組む。青少年への対策も重要。

議員 児童・生徒の安全のため、通路、生活道改善を早急に実施すべきだ。西鉄宮地岳線跡地活用との関連は。

市長 警察署、安全協会などと改善に取り組んでいる。西鉄宮地岳線跡地は通学路などの安全も念頭に整備する。

議員 サニー前の道路の白線が消えて

いるなど、直ちに改善だ。区長を通してだけではなく、市役所へ市民が直接訴えられるところも必要ではないか。

市長 市民が気づかれた箇所は、直接市役所に知らせてほしい。

議員 宮地岳線跡地の意見交換会での「ゼロベース」の意味は何か。市民は車道にすることを「ゼロベース」にすると、誤解されるのではないか。

市長 地元の意見を真摯に聞かせてほしい。誤解されるなら使わない。

議員 「子どもの権利」教育の必要は。
教育長 人権侵害から子どもを守る対策は、人権教育を充実させる。

子どもたちへの支援拡大を



吉住 長敏
(連)

以後の選挙費用の公営制度を

〔答〕 今後機運を高め向き合う

議員 福津市の選挙費用の公費負担の現状をどう認識しているか。

市長 選挙車使用、ポスターとビラ作成経費は条例の定めで公費負担ができる。福津市は市長と議員に選挙車使用、ポスター作成に公費負担していると認識。

議員 昭和50年以降の半世紀間、今回の4月市議選では最少数の立候補者の局面に至る可能性が出てきた。古賀では過去に無投票はないと思うが。

総務課長 指摘通りその事実はない。
議員 20代から30代の出馬は無謀極まりないと感じる。30代市長の見解を。

市長 30歳で立候補のときはかなり勇気がいった。1期4年はかなり不安定な立場にある事実はあるが、一方で公に資する仕事の意義を強く思う。

議員 古賀市議の最年少は50歳を超えた。福津市との歴然とした選挙公費格差は子育て世代の意欲の面でも改善すべきでは。

市長 県議選では選挙公営制度があったが、市長選ではない現実を知った。

多様な人が議会に出ることは大切。

議員 22人が立候補者した前回市議選の1人平均のおよその選挙費用は。

総務課長 68万円程度だった。

議員 福津市議選で25人が公営費用を申請、総額は1千万円を越える。持続可能な経営から個人の経済力で空しく断念するような時代は変革すべき。

市長 障壁がない状態を議会、政治の場に担保する意は同じ。今後向き合う。

選挙管理委員長 この提案を受け、今後、議会、市民の声を聞きながら検討。

※他の質問

後牟田大池線の安全確保

選挙費公営の福津市議選 (今年1月)





二 謙 (山海会)
村松

意見を言えない人の声をどう引き出すか

(答) 意見を言いやすい環境に全力を尽くす

議員 財政課が作成した中期財政計画を見たことはあるか。

市長 財政見直しなら把握承知している。

議員 計画と見直しは違う。見直しとは現在の延長線上の計算結果だ。計画とは歳入はこれだけ、人件費はこれだけ。では足りない部分は借金するのかなど数値的な判断が入ったものだ。つまり自分の意志が入ったものだ。市長の意志はどのようなものか。

市長 財政の現状を把握した上で、私が進めていくまちづくりに反映している。そうでなければ中長期の自治体経営ができないと考える。

議員 予算編成に子どもたちの意見を取り入れるとあるが、具体的にどのような手法か。

市長 小学校を毎月回っており、給食時に子どもたちから意見を聞く機会を作っている。広く子どもたちの目線で声を拾うため、次年度からも続けたい。

議員 市民からの意見を市政に反映すると言うが、対話集会と言っても、時

間の半分くらいが本題と関係ない話が多い。報告や説明だけになっている。

市長 評価は何と言われても仕方がない。全ての人に満足を得るのは難しい。が、毎回、模索しながら対話している。話が長いのは、伝えたいことの背景を補完するために話していると考えている。しかし改善の余地はある。

議員 集会では、声高に自分の意見を言えることができない人がいる。この方たちの意見を引き出してはどうか。

市長 これまで1対1の場面を作ってきた。今後も大切にしていきたい。そういう環境に全力を尽くしたい。

議員 現状の通学路、車道の安全対策に取り組むことが先ではないか。

市長 次年度も予算を組む予定なので、その前提に立っていることは共有できていると思う。

議員 跡地に関した、情報発信と情報の共有をすることが必要ではないか。

市長 貴重な提案だ。進捗が共有できるように手段があるので今後考えたい。

議員 古賀駅周辺のにぎわい創出について、西口エリアの今後は。

給食時に「対話と交流」



智之 (自由クラブ)
福崎

宮地岳線跡地、JR古賀駅のこれからについて

(答) 対話と交流を繰り返しながら進めたい

議員 宮地岳線跡地の活用への考えは。

市長 地域の実情に合わせた道路、歩道、遊歩道の整備。将来にわたって愛される空間をめざしたい。ガードレール、信号機などの設置。花壇、ベンチ、「歩いてん道」とのリンクなどさまざまなアイデアをいただいている。今後の詳細設計に活かしていきたい。

議員 前市長は「歩いて楽しくなる歩道」と表現したが、田辺市長の表現は。

市長 「多くの人が暮らしやすく、楽しく、過ごせる空間」と考える。

議員 現状の通学路、車道の安全対策に取り組むことが先ではないか。

市長 次年度も予算を組む予定なので、その前提に立っていることは共有できていると思う。

議員 跡地に関した、情報発信と情報の共有をすることが必要ではないか。

市長 貴重な提案だ。進捗が共有できるように手段があるので今後考えたい。

議員 古賀駅周辺のにぎわい創出について、西口エリアの今後は。

市長 企業支援、商業振興の推進、商業の活性化に必要な適度な人口の定住化に有効な土地利用策を検討。

議員 跡地と西口エリアの連携は。

市長 跡地が整備されることで、西側住民の駅周辺への往来が容易になることから、より身近な区域となり、にぎわい創出に良い効果をもたらすと考える。

議員 「古賀駅西口を出て、商店街を散策し、遊歩道となった跡地を歩き、松原を抜け、海に沈む夕日を見る」というイメージ。市長はどう感じるか。

市長 良いまちだと思つ。

愛される西エリアへ





平木 尚子
(公明党)

生きがいを持ち、安心して暮らせるまちに

〔答〕それぞれ検討し、推進、向上、充実を

議員 必要な地域などへの市民の移動手段の確保について、市長の考えは。

市長 本市では、西鉄バス、公共施設等連絡バス（コガバス）など運行している。さらに平成31年度は、将来にわたって持続可能な公共交通体系の確立をめざし、地域公共交通網形成計画の策定に着手したいと考えている。

議員 観光の活性化について、今ある観光資源を最大限に生かすには。

市長 本市には魅力的な観光資源や季節に合わせたイベントが多くある。これを最大限に生かすには、積極的なPRや、近隣自治体との連携も重要。

議員 市内の景観について、樹木・緑などの整備や計画を、どのように考えるか。

市長 既存の公園、緑地、道路緑地帯などについては、地域住民の皆様との共働による維持管理に努めるとともに、樹木の再配置や植え替えなどを検討し、景観価値の向上を図りたい。

議員 災害対策、防災の強化・充実に

ついて、現在の課題と今後の充実策は。

市長 発災時には各々が主体性を持って行動していただけるよう「自助」意識の醸成が重要であると認識している。避難行動要支援者に対する支援を实效性のあるものにするのが課題。防災訓練や出前講座で自助、共助の大切さを訴えるとともに、県の事業なども活用し、充実強化を図っていきたい。

議員 ヤングシルバー世代の方の活躍の場は。

市長 地域包括ケアシステムの構築や、シルバー人材センターなどで活躍の場社会参加について推進する。

大阪府熊取町で作られた災害時バンダナ



阿部 友子
(連)

男女共同参画社会の構築はどこまで進んだか

〔答〕女性起業家誕生など一定の成果はある

議員 大根川は古賀市内だけを流れる川。古賀市民が大事にしなくてはと思う。川のゴミは海に流れて、マイクロプラスチックの問題になる。川のゴミをなくすことが大事。全市的に河川清掃に取り組んでは。また、子どもが遊べる水辺の創出を。

市長 環境保全活動の環を全市的に広げるとともに、子どもたちにも親しみがもてる大根川にしていきたい。

議員 市民活動の活性化はまちを元気にする要因。公募型補助金制度を機能させて共働のまちをさらに推進すべき。

市長 よりよいまちづくりに取り組む市民活動を支援するため、「つながりひろば」の機能強化などに積極的に取り組む。

議員 宗像市の「人づくりでまちづくり事業補助金」制度と比べると、古賀市の公募型補助金制度には人づくりの視点がない。その結果、市民活動団体は、まちづくりへの参加意欲をなくしている。

清掃活動に励む中学生たち



市長 市民参画の重要性は認識している。人を基点にして広がっていくようなインセンティブを考えていく。

議員 市民との共働には情報共有が必須。情報が確実に届く取り組みを。ITの進展に即した情報発信の検討を。

市長 予算の概要版を出し、見える化に取り組んだ。市長ブログなどで市政の動きを発信している。

議員 校区コミュニティと行政・自治会のあり方についての考えを。

市長 相互に連携し総合力を持つて地域の課題に取り組めるよう支援する。

総務

委員会

2月6日

委員長 森本 義征
岩井 秀一
副委員長 井之上 豊
田中 英輔 村松 謙二
清原 哲史

「つながりひろば」は 地域づくりの拠点

市民活動支援センター「つながりひろば」の運営事業者は、公募型プロポーザル方式で企画提案者を募集し、プレゼンテーションの結果、特定非営利活動法人「エコけん」を業務委託候補者に選定したと報告がありました。

問 応募は何社あり、決定に至った理由は何か。

答 応募は2団体で、管理運営、企画提案、見積額で評価し、さらに広報やPR活動に専門的なスキルを持ったスタッフがいることなど総合的に判断した。

コミュニケーション推進課

舞の里に 「西鉄バス車庫」が整備



1日に延べ30数台が入出庫

問 西鉄バス新宮営業所が廃止され、舞の里に車庫が新設されたが、ここは事務処理の機能はあるのか。

答 この場所は営業所ではなく、乗務員の休憩施設であり、食事場所やトイレの機能を備えている。現時点では回数券発行などの事務機能はない。

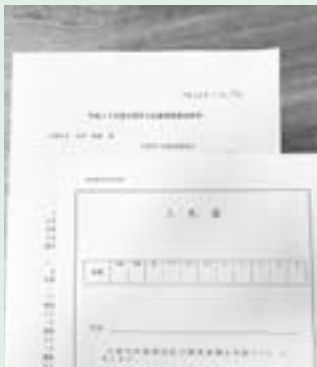
経営企画課

公正な競争性と 透明性、公平性を

古賀市入札監視委員会では、調査、審議を行った結果、全体的に入札および契約手続きは適正に執行されています。しかし公用車リースは、複数者辞退など入札中止があったことから、発注形態、入札方法の検討が必要との指摘がありました。

問 入札率が90パーセントの案件がある。提案だが、最低制限価格を公表する考えは。

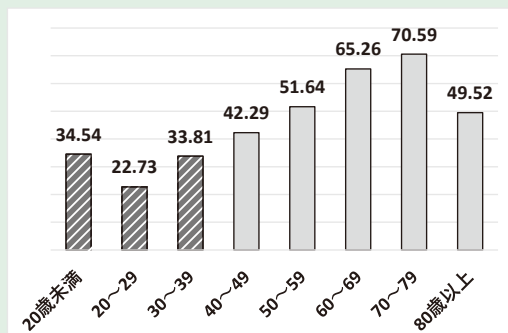
答 最低制限価格は設定しているが、事前公表の考えはない。



公明正大な入札を

管財課

若い世代の意見を まちづくりに生かそう



古賀市長選挙 年代別投票率 (%)

古賀市長選挙結果は、期日前投票者数で、前回の5426人が、今回は1万59人へ増加しています。一方、投票率は前回の49・82%が、今回は48・68%と減少しました。

問 投票率が上がらない要因は何か。その対策は。

答 若年層の投票率が低いので、この層の底上げが必要だ。

総務課

文教厚生

委員会

2月5日
8日

委員長 伊東 洋子
吉住 長敏 平木 尚子
副委員長 阿部 友子 内場 恭子
福崎 智之

小・中学校エアコン設置の今後の予定は

小・中学校の整備を前倒しして平成31年度内に完了する方針を決めています。工期末を年明けの3月中旬とし、来年の夏からの供用開始を予定しています。

問 3月中の完了を待って、次の夏からしか使えないのか。

答 市内全校一斉に供用開始を考えているが、可能であれば整備が完了した学校から順次開始することも検討したい。

問 各部屋の温度管理は。

答 原則、職員室での集中管理。教室でも状況に応じて室内設定ができるように考えている。

なお、エアコンの設置について、この報告のあと、普通教室の設置ということでの報告がありました。後日の委員会の中で、国、県の補助金内容変更により、特別教室への設置ができる可能性がでてきたとの報告がありました。



子どもたちの学習環境の改善へ

教育総務課

子育てにやさしいまちになっっているか

4月から開設される子育て世代包括支援センターの進捗状況と、子育て発信ツールについての説明がありました。

包括支援センターの愛称は「KuRuKuRu（くるくる）」という名前に決定。

有効な情報発信ツールとして、子育て支援アプリ「マチカゴ」を導入。

問 スマートフォンを使わない方への対応は。

答 紙の媒体などいろいろな手段を使って組み合わせる情報の提供がベストだと思っている。



子育て支援課

サンコスモ古賀一階の新たな配置は

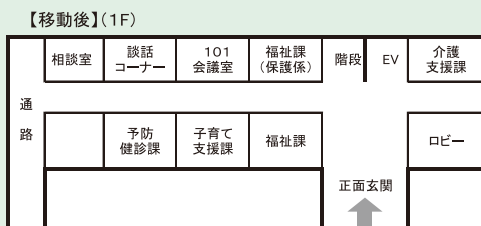
今回、事務スペースの移動について説明がありました。

問 福祉課に相談に来る方への配慮は考えられているのか。

答 福祉課のすぐ横に相談室もあるので、お迎えし相談できる。

問 全体のレイアウトは。

答 配置図を参照。



福祉課

サンコスモ古賀1階配置図

市民建産

委員会

2月7日

委員長 高原 伸二
副委員長 古賀 誠規
渡 孝二 松島 岩太

次期、し尿処理施設 福津市より広域化の申し入れ

次期、し尿処理施設について、福津市を含めた広域連携について、今後、協議を進めていきたいと報告がありました。

問 広域での処理ということだが、一部事務組合を立ち上げての建設と運営なのか、規約の締結によって行うのか。

答 現状では一部事務組合でなく、古賀市が建てることを想定しているが、今後の協議で確定していく。

問 福津市と広域化になった場合、処理量はどのようになるのか。

答 福津市が日量19kl、古賀市が日量29kl、合計で48klの予定となっている。

問 他市のし尿を受け入れるということは、古賀市は将来的に、し尿処理は収束させないとの理解でいいのか。

答 し尿はゼロにならず、期間として20年間を目途にして、その後検討されるものと考えている。



建て替え計画が進む海津木苑

環境課

日本オープンゴルフ大会

ゴルフ場より協力要請

古賀ゴルフ・クラブより日本オープン開催に向けて駐車場の確保、JRししぶ駅よりゴルフ場までの歩行者の安全確保、ボランティアの確保、古賀市特産品のPRなどへの協力要請がありました。

問 日本オープンを、古賀市の活性化に活用していくべきだ。

答 市としても、ゴルフ場内での出店ブースや、ししぶ駅周辺での逸品のPR、来場者のおもてなしなど古賀ゴルフ・クラブと協議する。



商工政策課

介護保険料滞納処分

収納管理課へ移管

介護保険料の納期を過ぎた滞納処分に関する業務を、介護支援課から収納管理課へ事務移管をします。平成31年4月1日の予定で進めていると報告がありました。

問 合理的な業務移管とと思うが、新たに業務移管を受けることで、どのくらいの負担増になるのか、また、職員の配置の検討は。

答 人事の配置については、移管が決定してから検討していく。介護保険料の滞納者はそれほど多くはない、財産調査など重複する部分もある。それほど負担増にはならない。

収納管理課

市民活動紹介 ボランティア 訪問 ②⑧

まちの草の根活動
紹介しま〜す!

「古賀市登山協会」

「ふるりの山を守ろう」

老若男女が一堂に



古賀市登山協会の歴史はとても古く、設立されて50余年になります。会の方針は「ふるりの山を守ろう」をスローガンに、自然を愛し、山を愛する方々が、気軽に参加できる場を提供するために活動しているボランティアの市民団体です。現在は、小学校4年生から80歳の方まで幅広い年齢の方々が会員となっています。活動内容は定例で毎月第3日曜日に、わがふるり古賀市が誇る「西山」や糟屋郡近隣の低山などを健康づくりも兼ねて登っています。協会では、月例登山のほか、年に

2回の「バスハイイク研修登山」や「野草を食べる会」も開催し、市民の登山活動だけではなく、里山の保全活動なども行っています。



野草を採集して「野草を食べる会」

連絡先・岡村 義人

092-943-0282

第1回定例会の傍聴者は47人でした。

ありがとうございました。

第2回定例会は6月6日(木曜日)開催予定です。

インターネットによる中継・録画配信も行っています。

ご利用ください。



古賀市議会の中継・録画は

古賀市議会

またはQRコードで検索してください。



中継・録画



古賀市議会 HP

スマートフォン、タブレットにも対応しています。



令和元年 古賀市議会第2回定例会の会期日程は、古賀市議会選挙後に決定されます。詳細は、議会ホームページでお知らせいたします。

注) 会期日程は、議会運営委員会決定後、市役所ロビーなどに掲示します。

◎本会議でのすべての質疑・討論の記録は「議会会議録」に収録されています。また、議会ホームページでもご覧になれます。

◎議会の本会議、各委員会は傍聴することができます。

(本会議の傍聴席は46席、委員会傍聴席は原則5～10席です)

編集後記

市議会は、市政のチェック機関、最終的な意思決定機関としての役割を担っています。

「市議会だより」は市民の皆さまへ、市議会での議論や市政の課題などを紙面を通じてお伝えしてきました。鳥取県の日南町・大山町への視察や研修会などに参加し、日々研鑽を重ね、わかりやすい市議会だよりの編集に努めてきました。

このメンバーでは今号で最後になります。ご愛読ありがとうございました。(古賀)

議会報編集常任委員会
委員長 内場 恭子
副委員長 福崎 智之
委員 阿部 友子
平木 尚子
古賀 誠視
村松 謙二

表紙の言葉
新元号「令和」が始まります。新しい時代の幕開けに、市の名山「西山」から願う古賀市の発展。

